

世界にときめく日本海側の拠点都市を目指して、まちづくりを進めてきた宮橋市長。2期目のスタートに際し、今後の方針や展望についてうかがいました。

希望ある小松市へ ウラ日本から 新時代の地方都市づくり に挑戦

を明るく、にぎやかに―を合言葉に、2期目も心新たに取り組んでまいります。

高い都市機能を活かし、 日本海側随一の 交流都市に

北陸新幹線小松駅開業から1年、駅周辺は飲食店の新規出店やホテルなどの建設が急増しています。今秋には北陸電力グループが建設を進める小松駅東地区複合ビル「ウレシヤス小松」が完成し、南加賀最大級のコンベンションホールのほか、公立小松大学キャンパス、オフィスフロアなど若者をはじめとした新たな人の流れが期待されています。

また、空港周辺は、国際便の復便や安宅新産業団地への企業進出により、商工業やスポーツ・エンターテインメントが融合する「シン都心」へと発展し



ウレシヤス小松▲

ます。新幹線駅と空港は本市最大の都市機能であり、自動運転バスやライドシェアなどの新たな交通モードによるアクセス強化はもとより、誰もが気兼ねなく、おでかけできるような地域交通の再構築を進めます。

そうした「誰かの背中を押す」ことができる市政を目指してまいります。どうか今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

Top Interview 小松市長 宮橋 勝栄



市政運営にあたって

皆様からのご信任をいただき、再び市長として市政のかじ取り役という重責を担わせていただくことになりました。どんな時代が来ても、活力や元氣を感じられるように「小松

誰もが働きやすい 産業の構築

産業ブースト計画として、安宅新産業団地に続く次期産業団地計画を進めるとともに、新たな企業誘致を進め、若者や女性が働きやすい職場の拡充を目指していきます。また、スタートアップや事業承継の支援体制を構築し、新産業と既存産業両方のレベルアップを図り、好循環のまちづくりにつなげていきます。

教育・子育て環境の グレードアップ

未来を担う子供たちを子育てや教育政策で積極的に応援していきます。より質の高い教育を受けられるよう、全小中学校と市立高校の規模や立地、教育体系の在り方など、教育環境の再構築にも取り組んでいきます。

南加賀の 地域医療の強化

誰もが必要な時に必要な医療を受けるためには、地域医療の機能分化と連携強化が不可欠です。南加賀医療圏の中核である小松市民病院は、老朽化への対応と急性期病院として診療機能の高度化・専門化を図るため、新病院の建設計画に着手し、安心で質の高い医療提供体制の構築を目指します。

質の高い生活空間へ

市民と共に創る未来型図書館は、構想からいよいよ建設段階に移り、芦城公園周辺の機能と景観が大転換

市民の皆様へ メッセージ

今ある豊かな小松市の姿は、市政85年という歴史の中で先人たちが未来を信じて努力を積み重ねてこられた賜物です。これまでの取り組みに感謝すると同時に、より良い小松市を次の世代へとつないでいかなければなりません。

これからの4年間、私たちが取り組む一つ一つの政策が、2040年、そして更に未来の小松へとつながっていく、そんな強い思いを胸に、皆様と共に新しい小松づくりに挑戦してまいります。

なんととっても主役は市民の皆様です。お一人お一人の挑戦もすっかり応援していきたいと考えています。

